

いわて環境と人にやさしい 次世代モビリティ開発拠点 プロジェクト活動報告



岩手県は、国の「地域イノベーション戦略推進地域」として選定され、平成24年度より自動車産業を通じ、持続的なものづくりイノベーションが実現できる地域を目指すプロジェクトの活動に取り組んでまいりました。

平成29年3月に事業終了を迎えるにあたり、研究開発の実用化や人材育成、設備共用化、産学官連携の取組の5年間の成果について皆さまに報告いたします。

本プロジェクトでは、大学等の研究テーマを産学連携で事業化を進め新技術を創出すること、地域の自動車関連技術者の人材育成を進める等、以下のような活動を行いました。

事業内容

研究開発

- 鋳造分野 岩手大学
- 金型分野 岩手大学
- ソフトウェア分野 岩手県立大学

人材育成

- 材料分析、設計技術者の育成 一関高専
- EV技術者の育成 一関高専
- モビリティに関する高度技術者の育成 岩手大学
- ものづくりとソフト両面の知識を有する技術者の育成 岩手県立大学

設備共用化

- 鋳造・造形システム導入 岩手大学
- i-MOS設備共用化促進 岩手県立大学
- 自動車関連設備導入 岩手県工業技術センター

知のネットワーク構築

- いわてショーケースカープロジェクト
- ニーズシーズマッチングプロジェクト
..... いわて産業振興センター

本プロジェクトでは全ての活動において、当初の数値目標を達成することができました。(表1)

具体的な活動としては参画企業による研究の事業化、人材育成講座を通じた新たな取り組み、学生の活動など成果・実績を上げることができました。(表2)

本プロジェクトを実施するにあたり、県内企業を中心に150社以上のご参画をいただきました。

皆様の多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

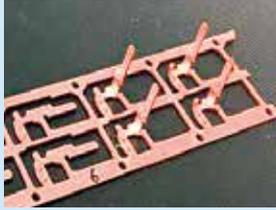
表1: 成果数値目標と実績値

	実績	目標
事業化数	60	12
ベンチャー創出数 ※1	12	8
特許等出願件数 ※2	37	30
査読論文数	80	60
人材育成数 ※3	771	330
参画企業数	150	65

※1 企業内新規事業創出含む ※2 ノウハウ、商標含む ※3 人材育成教育修了認定数含む

表2: 参画企業による事業化など成果・実績

バリレス金型技術の事業化



工数削減、コストダウンが可能なバリレス金型技術を岩手大学が確立。(株)ダイヤプレスへ技術移転を行いました。本技術は車載向け用金型に採用されました。

自動車部材用鋳造品の事業化



既存設備でも高強度・薄肉化できる岩手大学の鋳造技術を(株)及精鑄造所へ技術移転を行い、商用車向けウォーターポンプインペラーとして採用されました。

iBeaconを使用した観光用アプリ「めぐり旅」の事業化



岩手県立大学が開発した災害時や劣悪通信環境でも通信の最適化で情報配信ができるシステムを基にテクノ(株)、(株)び〜ぶるが観光アプリ「めぐり旅」として事業化。震災を語り継ぐアプリとしても活用されており、その様子はNHKニュース9に取り上げられました。

Bluetooth Low Energyによるコンテンツ配信システム



岩手県立大学の外部から必要な場合のみ接続させる通信システム技術を(株)イーアールアイが活用し、インターネットを使わないコンテンツ配信システム「メモタグ」を開発。防水性、省電力性を備え、災害時や、通信環境がない観光地での情報配信で利用が見込まれています。

ワイヤレス給電型センサーの開発



小型ワイヤレス給電技術を岩手県立大学と企業連合体「紫波町新技術研究会」が共同で自転車競技トレーニングシステムへ応用開発商品化。いわて国体等における紫波総合高校自転車部の躍進に大きく貢献しました。

電気自動車教材キットの開発



一関高専と共同で(株)モディーが次世代モビリティシステム開発技術者育成用「PIUS Education Version」を開発し国内のみならず海外でも販売を展開しています。平成28年にはベトナム・タンドウ大学へ導入されました。

人材育成講座をきっかけとした事業化



一関高専の人材育成講座に参加した(株)プラスエンジニアリングでは超音波援用加工、微小穴加工の新技術を一関高専と共同で創出し、新技術ベースにした売り上げを今後3年間で年1億円(全体の5%)と見込んでいます。

学生フォーミュラのEV部門の優勝



一関高専・岩手大学・岩手県立大学の学生による三学連携チーム「SIFT」は、当初目標に掲げていた参戦2年目での学生フォーミュラEV部門優勝を見事に果たしました。

学生カンパニーELEVIXの創出



一関高専のEV開発人材育成卒業生が創業した学生カンパニー「ELEVIX」はEV教材を使い、県内の中高生へものづくり体験、環境学習など、学生が人材教育を行うという独自の共育活動を行っています。

いわてショーケースカープロジェクト



65の企業、大学が参画し、いわての自動車関連研究・技術・部品236点を一堂に集め、見える化を行った「いわてショーケースカー」は、オートモーティブワールド出展等を通じ、企業連携・産学官連携による新技術・新製品の創出や、企業認知度の向上を図りました。



お知らせ

ご案内

報告

調査報告

その他